

令和2年度上半期 保険診療委員会活動報告

担当理事：小川千登世、副担当理事：高橋義行

委員長：田内久道、副委員長：安井昌博

委員：中山秀樹、後藤裕明、富澤大輔、川久保尚徳 長江千愛 柳生茂希

A. 診療保険関連事項

1. 免疫遺伝子再構成を利用した定量 PCR 法による微小残存腫瘍検査 (PCR-MRD)

(1) 2020 年度 PCR-MRD 検査施設の新規学会認定

LSI メディエンス

2. 2022 年度診療報酬改訂に向けた準備作業

(1) 内保連を介した要望提出：12 月 10 日の内保連への一時提案書提出にむけ、

学会員からの要望募集 (11 月 10 日締切) を行い、準備作業中

(2) 当学会からの直接提出：内保連での調整後に必要に応じて設定

B. 「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」への要望提出

1. 小児造血細胞移植患者における静注用ブスルファンの 1 日 1 回法：JCCG 施設での使用実態調査を解析し、提出

2. 再発・難治性急性骨髄性白血病に対する FLAG 療法：JCCG 施設での使用実態調査を実施し、提出

3. 神経芽腫に対する isotretinoin(13-cis-retinoic acid)：「未承認薬速実用化スキーム対象品目」として再申請、検討会議にて「医療上の必要性の基準に該当する」と判断

4. 神経芽腫に対するテモゾロミドの適応拡大：申請準備のため、JCCG 施設での使用実態調査を実施

5. アントラサイクリン系抗腫瘍薬の心毒性軽減に対するデクスラゾキサンの適応拡大：申請準備中

6. レゴラフェニブの難治性骨肉腫への適応拡大：申請準備中

7. メルファランの網膜芽細胞腫（眼動脈注入）への適応拡大：申請準備中

C. その他

厚生労働省の調査「小児用医療機器に対する医療ニーズ・医療実態調査」を実施：

当学会の診療する疾患の診療にて必要であるものの既承認の医療機器が存在せず、オフラベルユースや成人用機器で代用しているもの等や新たに開発を希望する機器に関する調査

以上